

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(ブログ「石油と中東」:[https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki\\_1943](https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943))

マイライブラリー:0497

(注)本稿は2020年3月3日から7日まで3回に分けて「ブログ・石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

2020.3.10  
前田 高行

## **JXTG/出光興産と五大国際石油企業の2019年10-12月期業績比較**

**はじめに**(末尾表 1-D-4-26 参照)

国内1位、2位の石油企業 JXTG ホールディングス(以下 JXTG)と出光興産(以下 出光)の12月期決算が相次いで発表された。JXTGは2017年4月にJXホールディングスと東燃ゼネラル石油グループが合併して発足した会社であり、出光は昨年4月に旧出光興産と昭和シェル石油が合併して設立された会社である。

以下は今回の JXTG 及び出光の決算報告の中から売上高、純利益、売上高利益率、上流部門利益及び下流部門利益を取り上げ、国際石油企業メジャー5社(Shell, ExxonMobil, BP, Total 及び Chevron、以下メジャーズ)と比較したものである。

メジャーズは四半期決算をメインとし3か月ごとの数値を公表し、第4四半期(10-12月)の決算資料では年間の業績を提示している。これに対して JXTG 及び出光の決算期は4月から翌年3月までであり、3か月ごとに期初(4月)からの累計額を表示している(例えば今回の12月末決算資料では売上、利益は4-12月の9か月間の累積値である)。

このため本レポートでは JXTG と出光については今回(12月)と前回(9月)の金額の差額を10-12月の売上あるいは利益としメジャーズの第4四半期決算値と比較した。また通貨については日本企業2社の決算は円建てであるため、各社の決算付属資料に示された為替レート(JXTG:109円/ドル、出光:108.7円/ドル)で換算したドル建て表示で比較した。

メジャー各社の昨年1-12月決算及びメジャーと JXTG・出光の7-9月(第3四半期)決算比較については下記のレポートを参照されたい。

「五大国際石油企業2019年業績速報」:<http://mylibrary.maeda1.jp/0495OilMajors.pdf>

「JXTG/出光興産と五大国際石油企業の2019年7-9月期業績比較」:

<http://mylibrary.maeda1.jp/0486MajorJxtgIdemitsu2019JulSep.pdf>

またメジャー5社、JXTG、出光興産の詳細な決算資料は下記の各社ホームページをご覧ください

い。

ExxonMobil:

<https://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-143-billion-2019-57-billion-fourth-quarter>

Shell:

<https://www.shell.com/investors/financial-reporting/quarterly-results/2019/q4-2019.html>

BP:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/fourth-quarter-2019-results.html>

Total:

<https://www.total.com/en/media/news/press-releases/fourth-quarter-and-full-year-2019-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-announces-fourth-quarter-2019-results>

JXTG ホールディングス:

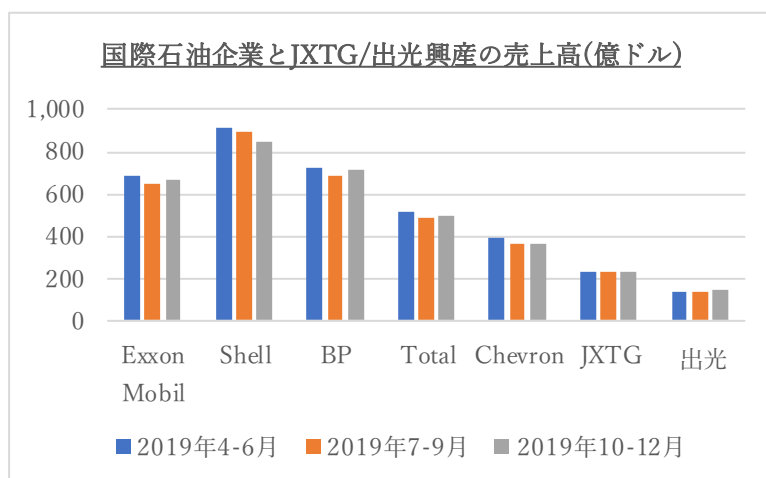
<https://www.hd.jxtg-group.co.jp/ir/library/statement/>

出光興産:

<https://www.idss.co.jp/content/100030488.pdf>

(Shell の売上高は JXTG の4倍、出光の6倍！)

## 1. 売上高



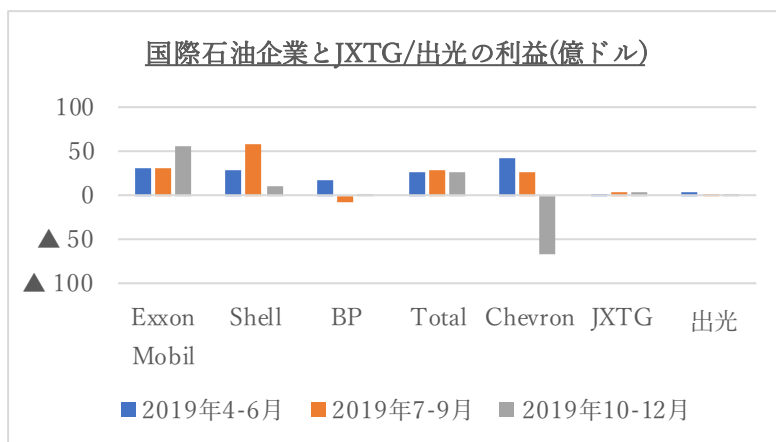
2019年10-12月期のJXTGの売上高は2兆5,441億円、出光は1兆5,606億円である。これをJXTGは1ドル=109円、出光は1ドル=108.7円で換算すると(換算レートは各社の決算説明資料から引用、以下同様)、JXTGは233億ドル、出光は144億ドルとなる。

これに対してメジャーズ5社の同期の売上高は最も多い Shell が851億ドル、ついで BP 711億ドル、ExxonMobil 672億ドル、

Total 493億ドル、Chevron 364億ドルである。JXTG はメジャーズ最大の Shell の4分の1であり、出光は6分の1にとどまっている。メジャーズの中で最も売上高が少ない Chevron と比べても JXTG は6割強、出光は4割弱である。売り上げ規模で見れば日本企業と欧米企業の差は大きい。

(ExxonMobil、Total に比べ大きく見劣りする日系2社の利益！)

## 2. 純利益

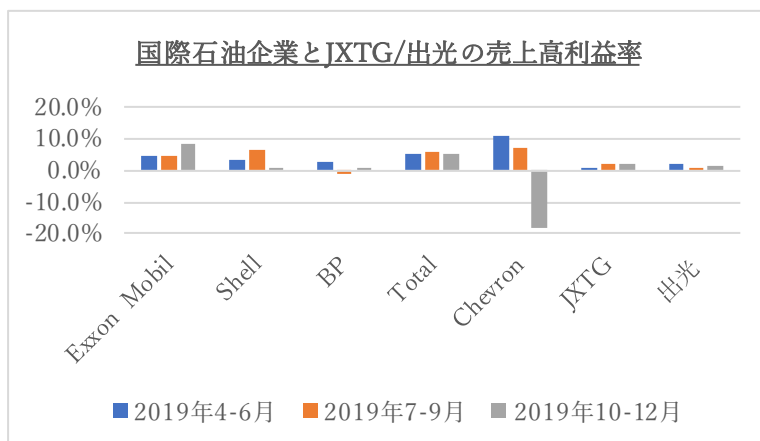


JXTG の10-12月期の純利益は535億円(4.9億ドル)であり、出光の純利益は196億円(1.8億ドル)であった。一方メジャーの同期間の利益はExxonMobil が57億ドル、Total 26億ドル、Shell 10億ドル、BP 1,900万ドルであり、Chevron は66億ドルの大幅欠損であった。

JXTG 及び出光はメジャーズのBPあるいはChevronを上回り堅実である。但しExxonMobil、TotalあるいはShellと比較するとその利益水準は見劣りがする。

(JXTG、出光の利益率はメジャーズと遜色なし！)

## 3. 売上高利益率



売上高利益率を比べてみると、最も高いのはExxonMobilの8.5%であり、これに次ぐのがTotal 5.3%、続いてJXTG 2.1%、出光1.3%と日系企業であり、4位以下はShell 1.1%、BP 0.0%、Chevron ▲18.2%である。ExxonMobil及びTotal 2社は他社に比べ売上高利益率が突出して高い。日系2

社を含むその他の5社はいずれも2%以下であるが、JXTG 及び出光の利益率はShell、BP、Chevronのメジャー3社を上回っており遜色はない。

(利益水準が低い日系2社、各社の戦略で明暗分かれたメジャー5社の上流部門！)

## 4. 上流・下流部門の業績比較

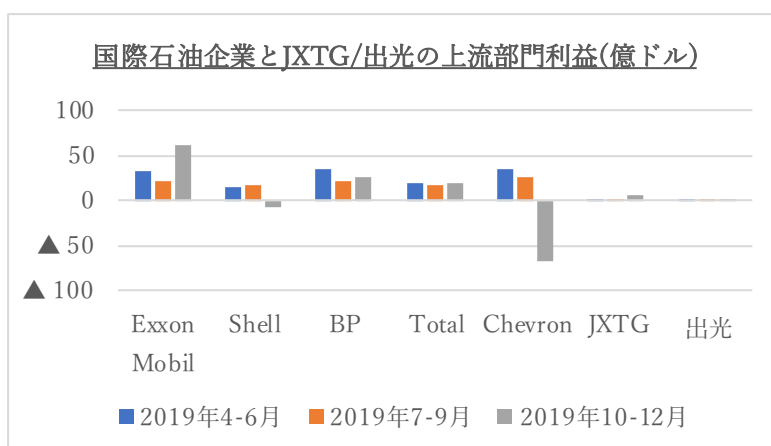
JXTG 及び出光は元来石油精製事業を専業とし市場も日本国内にとどまっていた。その後、吸収合併を重ね或は事業の多角化を進めた結果、例えば JXTG は日本鉱業の吸収合併により非鉄金

属事業が同社の事業の一翼を占めている。また出光は豪州石炭事業或は高機能材などに手を広げている。

これに比べメジャーズは創業当初から石油・天然ガスの開発生産に取り組み、また世界を相手に事業展開を行うエネルギー専門企業としての長い歴史を有している。JXTG、出光両社も石油天然ガスの開発に取り組んでいるが、メジャーズなど世界のエネルギー企業に比べて大きく出遅れている。

ここではJXTGについては決算書が示すセグメント別業績の内、エネルギー事業(いわゆる石油下流部門)と石油・天然ガス開発事業(いわゆる上流部門)の営業利益を取り上げ、また出光もセグメント別営業利益の燃料油部門と資源部門をそれぞれ下流あるいは上流部門とみなしてメジャー5社と比較する。

#### 4-1 上流部門の利益

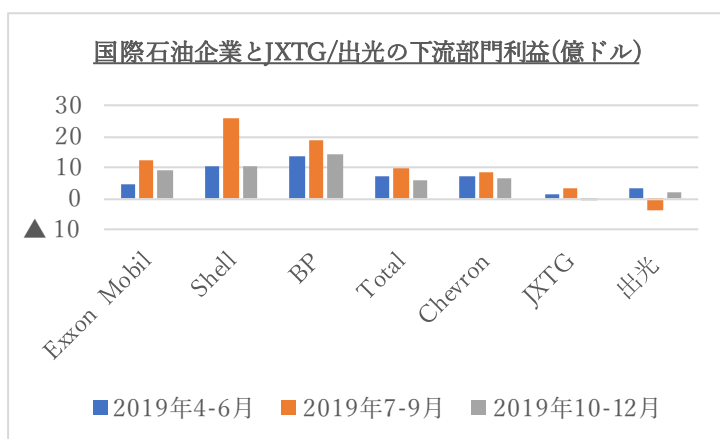


日系2社の上流部門の利益はJXTG が768億円(7億ドル)、出光は80億円(7,400万ドル)であった。これに対してメジャー5社の上流部門の利益はExxonMobil が61億ドルと圧倒的に多く、これに次ぐのがBP 27億ドル、Total 20億ドルである。Shell 及び Chevron は共に赤字であり、その額は前者が▲8億

ドル、後者が▲67億ドルであった。

メジャーズのうち Chevron は今期、シェールガス・石油鉱区を積極的に除却し、また Shell も天然ガスへの移行を促進するなど上流事業の再構築を行っている。このような戦略の違いが上流部門の今期利益に反映していると考えられる。

#### 4-2 下流部門の利益



日系2社の下流部門の利益は、JXTGが90億円(8,300万ドル)の欠損、出光は213億円(2億ドル)の利益であり明暗を分けている。一方メジャーで下流部門の利益が最も多いのはBPの14億ドル、続いてShellの10億ドルであった。その他3社はいずれも10億ドル未満であり、それぞれExxonMobil 9億ドル、Chevron 6.7億ドル、Total 5.8億

ドルであった。メジャーズ5社の利益はいずれも出光を上回っており、BPは出光の7倍である。

なお各社の上流部門と下流部門の利益を比較すると、ExxonMobil、BP、Total のメジャーズ3社とJXTG は上流部門が下流部門の利益を上回っており、Shell、Chevron 及び出光は下流部門の利益が上流部門を上回っている。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

**国際石油企業(IOC s)とJXTG&出光興産の業績比較(2019年4月～2020年3月)**

(単位：百万ドル)

		Exxon Mobil	Shell	BP	Total	Chevron	JXTG	出光
売上高	2019年4-6月	69,091	91,838	72,676	51,242	38,850	22,862	13,433
	2019年7-9月	65,049	89,541	68,291	48,589	36,116	23,378	14,031
	2019年10-12月	67,173	85,066	71,109	49,280	36,350	23,341	14,357
純利益	2019年4-6月	3,130	2,998	1,822	2,756	4,305	158	327
	2019年7-9月	3,170	5,879	-749	2,800	2,580	492	86
	2019年10-12月	5,690	965	19	2,600	-6,610	491	180
売上高利益率	2019年4-6月	4.5%	3.3%	2.5%	5.4%	11.1%	0.7%	2.4%
	2019年7-9月	4.9%	6.6%	-1.1%	5.8%	7.1%	2.1%	0.6%
	2019年10-12月	8.5%	1.1%	0.0%	5.3%	-18.2%	2.1%	1.3%
上流部門利益	2019年4-6月	3,261	1,554	3,413	2,022	3,483	120	180
	2019年7-9月	2,168	1,722	2,139	1,734	2,704	106	61
	2019年10-12月	6,137	-787	2,678	2,031	-6,734	704	74
下流部門利益	2019年4-6月	451	1,072	1,365	715	729	118	328
	2019年7-9月	1,230	2,574	1,883	952	828	332	▲ 383
	2019年10-12月	898	1,037	1,438	580	672	▲ 83	196